

自主的避難等対象区域（福島市）から避難した申立人らのうち、原発事故当時80歳台で要介護1であった申立人の平成23年3月分から同年8月分までの精神的損害（増額分）として10万円、避難先で同人の介護を余儀なくされた申立人3名の同期間の精神的損害（増額分）として主たる介護者1名につき4万円、従たる介護者2名につき各2万円が、それぞれ賠償された事例。

和解契約書（全部和解）

原子力損害賠償紛争解決センター平成〇〇年（東）第〇号事件（以下「本件」という。）につき、申立人X1、同X2、同X3及び同X4（併せて、以下「申立人ら」という。）と被申立人東京電力ホールディングス株式会社（以下「被申立人」という。）は、次のとおり和解する。

1 和解の範囲

申立人らと被申立人は、本件に関し、下記の損害項目（下記期間に限る。）について和解することとし、それ以外の点については、本和解の効力は及ばないことを相互に確認する。

記

| | | |
|------|---|---------------|
| 損害項目 | ア | 精神的損害（申立人X1分） |
| | イ | 精神的損害（申立人X2分） |
| | ウ | 精神的損害（申立人X3分） |
| | エ | 精神的損害（申立人X4分） |

期間 平成23年3月11日から平成23年8月31日まで

2 和解金額

被申立人は、前項の損害項目及び期間についての和解金として、申立人らに対し、金340,000円の支払義務があることを認める。

〈内訳〉

| | | |
|---|---------------|----------|
| ア | 精神的損害（申立人X1分） | 60,000円 |
| イ | 精神的損害（申立人X2分） | 80,000円 |
| ウ | 精神的損害（申立人X3分） | 140,000円 |
| エ | 精神的損害（申立人X4分） | 60,000円 |

3 既払金

申立人ら及び被申立人は、被申立人が申立人らに対し第2項の金員のうち、金160,000円を支払済みであることを確認する。

4 支払方法

(省略)

5 清算

申立人らと被申立人は、第1項記載の損害項目（ただし、同項記載の期間に限る。）について、以下の点を相互に確認する。

ア 本和解に定める金額を超える部分につき、本和解の効力は及ばず、申立人らは被申立人に対して別途損害賠償請求することを妨げない。

イ 本和解に定める金額に係る遅延損害金につき、申立人らは被申立人に対して別途請求をしない。

6 手続費用

本件に関する手続費用は、各自の負担とする。

本和解の成立を証するため、本和解契約書を2通作成し、申立人ら及び被申立人が署名（記名）押印の上、申立人らと被申立人がそれぞれ1通を保有するものとする。また、被申立人は、本和解契約書の写し1通を、原子力損害賠償紛争解決センターに交付する。

令和元年8月15日

(仲介委員 森居 秀彰)